

こどもの城 ニュース

1999.7.15 No. 96 発行/〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5666 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



「やこんぼ」

夏の風物詩「ホタル」を見たことがある人はいますか？ おしりを光らせて暗い中を飛ぶすがたは、それはきれいなものです。ホタルの仲間には、幼虫時代を水の中で過ごすものと、陸で過ごすものがあり、水の中で過ごすホタルの代表的なものがゲンジボタルです。
昔の子どもは、この花の中につかまえたホタルを入れて、光るようすを楽しんだそうです。だからホタルブクロというのでしょうか。
(こどもの国=横浜)

生活の中の“竹”を見直す

素材との出会い展～竹と造形（造形スタジオ）



竹の中には、竹についての豆知識がつまっています。

いろいろな“竹”の造形プログラム

夏休みの造形スタジオ——誰もが遊べる制作コーナーでは、くしなるくさけるく筒のようになってくなどの特長を生かした「作って遊べる竹のおもちゃ」など、夏休み一日造形教室では椅子や鳥かごのような実用的で個性的な道具作りを中心としたプログラムを行います。

パネのようにくしなる

わっとび竹（親子）＝細い竹ひごで作った輪。指ではくだけでパネのように跳びはねます。
タケ・ラ・ケラ（小3～）＝たいらな竹ひご、細い竹ひごをしならせて、さまざまな形を作り出します。



わっとび竹



タケ・ラ・ケラ

くしなるくさけるく筒のようになってくなどの特長を生かした「作って遊べる竹のおもちゃ」など、夏休み一日造形教室では椅子や鳥かごのような実用的で個性的な道具作りを中心としたプログラムを行います。



まわりん棒



ハンフーカー

く筒 + くかたい

平成・とんだりはねたり（親子）＝半分に分けたかまぼこ型の竹に輪ゴムを巻き、そこに竹ひごを差してゴムをよじります。机に置くと竹が宙返り。
おしゃべり竹（小1～）＝太い竹を輪切りにして重ね、ゴムで止めます。切り口をこすりあわせると、竹がしゃべり始めます。



おしゃべり竹



平成・とんだりはねたり

“竹”は身近な植物の一つ。七夕飾りや門松などの飾り、うすくそいだ（“へぐ”と言います）竹を編んで作る「かご」や「ざる」などの実用的な道具類、越前竹人形のような民芸品、そして春を告げる味「たけのこ」を賞味したり——さまざまな形で“竹”は私たちの生活に結びついています。

私たちの暮らしの中でさまざまな形で使われている“竹”を見直そうと、造形スタジオでは「素材との出会い展～竹と造形」を行っています。筒のように中が空洞になっていて軽い、縦に割りやすい、表面がつるつるしている、曲げても元の形にもどるなど弾力性に富んでいる——などの特長を持っている“竹”を使った造形スタジオの活動を紹介します。

“竹”の生活用具がいっぱい

私たちの身の回りには、“竹”を使ったものがいろいろあります。例えば、野菜などを洗ったあとに水を切るために使う「ざる」——今は金属やプラスチック製のものにとって代わりましたが、以前はほとんどが竹製でした。竹くし、さいばし、まきすなど、今でも竹製の台所用品はたくさんあります。

このように生活に密着した“竹”。いろいろな竹製品（スタッフの手作り品も含む）を展示した「ふんぐや」「うちわや」「うつわや」「かごや」「あそびや」などの店、そして春休みから商いをしている「たけや」が並ぶ「たけや横町」が造形スタジオの中に設けられます。

また、「竹職人の仕事場」や竹を使った造形作品を展示する「竹屋画廊」もあります。さらに、武蔵野美術大学民俗資料所蔵の暮らしの中の竹製品100点あまりもあわせて展示します。

機能を生かしたデザイン

一輪ごしの花器、ひしゃくなどは、竹の形をうまく利用したもの。竹を薄くそいで編み上げたかごやざるなどは、実用性と編み目模様などの美しさ（デザイン）の2つの面をもった生活用具です。竹のしなやかさ、つるつるした表面などが、巧みに利用されています。



竹製の道具類。用途によって編み方もいろいろ。実用性とデザインの美しさをかねそなえた工芸品といえます。

“竹”の造形作品を「竹屋画廊」で展示

竹屋画廊では、「松本劇場」というタイトルで、“竹”を使った造形作家の松本秋則さんの作品（光と音と動きを楽しむ音具）を展示します。

「夏休み一日造形教室」参加者募集中

夏休み特別期間中の7月27日～8月28日の毎週火～土曜日の午前10時30分～午後5時、丸一日をかけてじっくりと「竹の造形」に取り組みます（昼食は各自ご用意ください）。対象は、小学校3年生～高校3年生。定員は各日15人。受講料5,000円。プログラムの見本は造形スタジオ入り口ほか展示中。詳しくは、造形事業部 ☎03-3797-5662 へおたずねください。

「竹屋画廊」に展示される松本秋則さんの作品「すみだり」サイードホール・ギャラリーでの展示から



木の家に住もう！キャンペーン

木住ギャラリー

10/13(水)～10/17(日)

優秀作品の展示、

木住協インフォメーション 他

平日：12:30～17:30

土日：10:00～17:30

木住セミナー

10/17(日)

表彰式 11:00(予定)

講演会 (渡辺篤史氏) 13:00 120名様ご招待

木工教室 (穂いつべ氏) 14:00 こどもの城(渋谷)

●「木住キャンプ」親子100名様ご招待 ●「木住街頭フェスタ」苗木プレゼント(先着200名) 他

10/2(土)～10/3(日) 横浜 こどもの国 10/10(日) 西銀座テアト 11:00～16:00

●「木住キャンプ」及び「木住セミナー(講習会)」に参加ご希望の方は、ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、学年(職業)、電話、参加人数を明記の上、下記事務局宛お申込みください。(平成11年8月末日消印有効) 当選者の方には9月12日までにハガキでご連絡いたします。
〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-14赤坂協和ビル8階 社団法人日本木造住宅産業協会内「木住キャンペーン」事務局 TEL.03-3583-5719 FAX.03-3584-7884

第2回「木の家・こんな家に住みたい」作文コンクール

400字詰め原稿用紙3枚以内、ワープロなどでの作成の場合は1ページ400字で3ページ以内で送ってください。

- 応募資格
低学年の部 小学校1～3年
高学年の部 小学校4～6年
- 審査
「木の家・こんな家に住みたい」作文審査委員会

第1回「あなたのお気に入りの木」写真コンテスト

2Lサイズ(12.7cm×17.8cm)のカラープリントを厚紙でガードして送ってください。

- 応募資格
小学生の部 小学校1～6年
一般の部 中学生以上の方
- 審査
「あなたのお気に入りの木」写真審査委員会

●応募規定

①住所②氏名③年齢④性別⑤学校名⑥学年⑦電話番号⑧どこでこの募集を知ったかを明記した応募用紙を添付し、事務局まで郵送してください。学生以外の方は職業を明記。作品のタイトルはテーマのままでも個別設定でも可。未発表作品。受賞作品の著作権は主催者に帰属。応募作品は返却いたしません。

●応募期間

平成11年 7月1日(木)～9月10日(金) 必着

●応募先および問い合わせ先

〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-14赤坂協和ビル8階 社団法人日本木造住宅産業協会内「作文コンクール」または「写真コンテスト」事務局 TEL.03-3583-5719 FAX.03-3584-7884
インターネットURL http://www.mokujukyo.or.jp/

●賞(作文)「写真」共

最優秀賞……各部門1点(図書券各5万円相当)
優秀賞……各部門3点(図書券各1万円相当) 佳作……各部門15点(木住協オリジナルテレホンカード)
※作文には最優秀団体賞(1校・図書券5万円相当)と優秀団体賞(2校・図書券3万円相当)が新設されました。

●発表

10月上旬・インターネットホームページおよび朝日小学生新聞紙上に発表。別に入賞者の方には直接連絡いたします。優秀作品は平成11年10月13日(水)～10月17日(日)まで「こどもの城(渋谷)」の展示コーナーに掲示します。

●主催 社団法人 日本木造住宅産業協会

●後援 朝日学生新聞社

※応募用紙をご希望の方、詳細をお知りになりたい方、ご遠慮なく当協会へお問い合わせください。



10月18日は「木造住宅の日」
社団法人日本木造住宅産業協会



地球上にやさしい暮らしを原動力に実現します。

【こどもの城】は毎日元気 7月20日～8月31日。期間中は月曜日も開館

【こどもの城】は、「海の日」の7月20日から8月31日までが夏休み特別期間。期間中は、月曜日も開館。毎日、午前10時から午後5時30分まで「遊ぶ」ことができます(9月1～3日は休館します)。

【得情報】夏休み中、いつでも使える「わくわくパス」「ドキドキパス」発売中!

夏休み期間中、【こどもの城】を何回でも利用できる、割引引き入館券「わくわくパス」(大人用、1,800円)と「ドキドキパス」(子ども用、1,500円)をアトリウム講座クラブ受付で発売しています。お問い合わせは、こどもの城【☎03-3797-5666】へ。

虫の形態をさぐる「むしむし探検隊」

〈歩く〉〈鳴く〉〈飛ぶ〉〈見せる〉で虫を解剖

7月20日～8月31日 アトリウム・ギャラリー

夏休み特別期間のギャラリーは「むしむし探検隊」。展示やワークショップをおとじて、「むし」の形態を紹介し、虫をより身近に感じ、人間を含めた生き物全般に興味をもってもらうと企画されたものです。「むし」の形態をく〈歩く〉〈鳴く〉〈飛ぶ〉〈見せる〉という4つの動作のメカニズムを分け、体験コーナーをおりまして展示します。主な展示内容は、つぎのとおりです。

〈歩く〉=ノミやバッタは、どのくらい跳べるのか「ジャンピング・ランキング」、虫の筋肉の構造を解説する「筋肉解剖室」、足の動きをビデオや図で解説する「6本足の妙技!」。

〈鳴く〉=虫の鳴き声をあてる「鳴く虫がし」、鳴くメカニズムを再現する「鳴いてみよう」。

〈飛ぶ〉=拡大模型で羽の違いを観察したり、虫の名前をあてる「この羽だれの?」、羽のしくみをさぐる「虫のグライダー」。

〈見せる〉=写真や図版などで虫の姿を紹介。

だれでも参加できるワークショップでは、1枚の紙から作る昆虫のペーパークラフトを作ります。夏休みを4期に分けて、全部で12種類の虫が登場する予定です。このほかにも工作教室「虫を作ろう」(有料・一日)、ビデオライブラリーや体育室で「むし」に関連したプログラムが行わ

れます。

8月13～15日 第5回「人形劇カーニバル」 青山円形劇場ほかで9プログラム上演

5回目を迎える「人形劇カーニバル」が8月13日～15日に、青山円形劇場と8階研修室で開かれます。今回のテーマは「ことばってなに...」。開演のベルが鳴り終わると、人形たちは自由に動きだし、さまざまな表情をみせながら、楽しく会話を始めます。そんな人形たちの動きと会話のおもしろさを楽しんでもらおうと、「せりふのない人形劇」と「せりふのある人形劇」を上演します。出演者と演目は次のとおりです。**【8月13日】**Aプログラム=れもん座「手ぶくろを買いに」ほか Bプログラム=マイクロボディウム

「STOP!」、エッコ・ワールド 肩掛け人形芝居「ねずみのすもう」Cプログラム=糸あやつり人形劇団のむし「キツネのマガリン」ほか**【8月14日】**Aプログラム=八王子車人形西川古柳座 バレエと車人形「おやゆび姫」ほか Bプログラム=あ・ぶ・ぶ@人形劇場「ケロロだ ジャンプ」ほか Cプログラム=バベットBOX「コロ、コロ...」ほか**【8月15日】**Aプログラム=人形劇・木ぐつの木「ねこのパンやさん」ほか Bプログラム=高津人形座「赤ずきんちゃんとうるウル」ほか Cプログラム=クレヨンカンパニー「ガラタ人形劇「ニコニコたけはいびん」」ほか

*Aプログラムは、青山円形劇場で公演(午前11時、午後1時30分、3時30分)します。入館券のほか当日配布する入場整理券(無料)が必要です。

*B・Cプログラムは研修室で公演。時間は、Bプログラム(午前11時、午後2時)、Cプログラム(午後1時と3時)です。研修室での公演は入館券のみでごらんいただけます。

キンダー・フィルムフェスト・ジャパン

子どものための映画が世界中から大集合!

7月23日～8月6日 4階Bスタジオほかで

日本でただ1つの子どものための映画祭「第7回キンダー・フィルムフェスト・ジャパン」が、7月23日～8月6日に、今年も【こどもの城】で開かれます。世界中から「子どものために」作られた映画(ドラマやアニメーション)が集まります。

世界各国の映画の上映(7月23日～8月1日)のほか、ゲストを迎えてワークショップ(7月30・31日)を行ったり、映像遊びのワークショップ(8月2～6日)を行います。

好評だった一日体験講座「おやこ三味線クラス」 9月から月1回の講座がスタート

日本の伝統楽器をより多くの人に触れてもらいたいと、一日体験講座「おやこ三味線クラス」が、5月31日と6月6日の2日間、それぞれ約10組の親子が参加して行われました。「今日は、ほんのちょっとでいいから楽器を体で感じて、慣れてください」と【こどもの城】三味線講座の指導にあたっている田島佳子さん。パチを持って音を出してみます。「三味線の弦は3本。蚕の糸でできていて、上から順に一の糸、二の糸、三の糸。だんだん細くなります。私のまねをすれば演奏できるようになります」とアドバイ

ス。1時間30分のレッスンで「さくらさくら」が弾けるようになりました。「実は私がやりたくて申し込みました」と参加したお母さん。9月から「おやこ三味線クラス」が開講されることになりました。「おやこ三味線」は月1回のペースで全5回(9～12月期)。時間は、日曜日の午前9時45分～10時45分。対象は、小学校1年生～高校3年生の子どもと保護者。定員10組(希望者が5組に満たない場合は開講をとりやめることがあります)。受講料は1人につき6,000円。お問い合わせは、音楽事業部【☎03-3797-5663】へ。



▲一日体験講座「おやこ三味線クラス」の講座風景

保育所や児童館などの現場で役立つように、【こどもの城】の活動をまとめた事例集。プログラムの企画から実際に、実際のノウハウがいろいろい。

【こどもの城】イラストで見る「スポーツ遊びで健康づくり～子どもの成長に合わせて」

乳・幼児期は、親と子どもが二人三脚で行うスポーツ遊び。学童期になると、遊びからスポーツへと興味は広がっていきます。「乳・幼児の運動(子育ての中で)」[身近な道具でスポーツ遊び]「なわとボール体操」[スポーツ遊びで体力づくり]など、分かりやすくイラストで紹介。 こどもの城体育事業部編著

既刊好評発売中

【こどもの城】一緒に遊ぼう 楽しく子育て～一人ひとりが輝くために

1・2、3～5歳の幼児から、母子、親子、父子、家族を対象としたプログラムまで、保育者の視点、実施上の注意、発展へのヒントなど実践的な「子育て支援」プログラムのノウハウがまとめられています。 こどもの城保育研究開発部編著

【こどもの城】うつろ うさく「映像遊び」探検隊～アニメもちゃからビデオまで

映画発明以前に考案された「視覚玩具」(眼の錯覚、残像などを利用した玩具)を応用した遊びから、ビデオを使った遊びまで、特別な道具を使わずに楽しめる「映像遊び」を紹介。巻末には主要プログラムの型紙がついています。 こどもの城A事業部編著

各巻とも、A4変形判130ページ 2色刷り、本体価格は、1,800円(税別)。全国の書店で取り扱っています。書店で手に入りにくい場合は、直接発行元へお申し込みください。送料は1冊340円です。【こどもの城】1階売場でも販売しています。

発行=中央法規出版株式会社 〒151-0063 東京都渋谷区代々木2-27-4 ☎03-3379-3861(代)

大阪府立の大型児童館が堺市にオープン 施設の愛称は「ビックバン」

漫画家の松本零士さんが初代館長に

大阪府立の大型児童館が堺市茶山台に6月23日に開館しました。愛称は「ビックバン」。【宇宙戦艦ヤマト】でおなじみの、松本零士さんが館長です。

北北高速鉄道の泉ヶ丘駅を出てすぐ、目の前に大きな建物とその上に着陸したかのような宇宙船、その隣には発射台(?)が見えてきます。

エントランスから階段で2階にあがると、大きな画面が目飛び込んできます。ここは「スペースファクトリー」。子どもたちが描いた動物が大画面の中に登場する「ハートピア電子動物園」という装置で、名前と生年月日を入力しておけば、次の来館時に再会すること



▶「マチカネ」の冒険



▶大型児童館「ビックバン」全景

▶大型児童館「ビックバン」全景

子ども審査員の審査対象となるノミネート作品は、長編ドラマ「どろぼう3人組」(アンドレアス・プロフェスカ監督/オーストリア)と「夏休み3人組」(セシリオ・ネイト監督/ブラジル)、中編ドラマ「ほくのおにいちゃん」(ヘンリック・リュウベン・ゲインツ監督/デンマーク)と「ショーン

の冒険—はじめての雪」(グラハム・ラルフ監督/イギリス)など。外国からの作品は、すべて「オーバー・ボイス方式」(外国語のせりふに合わせて、声優が日本語のせりふを話す方式)で上映します。公募で

集まった子どもたちが審査して、8月1日に「ベスト・ビジョン・アワード」を発表します。

今回の海外招待ゲストは、オランダで活躍しているアニメ作家のグレッグ・ローソンさん。「おそろしいのはだれ?」「ふくろうのうた」など、子ども向けの歌に合わせた短編作品やアート感覚あふれるイラスト・アニメなど、ローソンさんの作品を集めて上映。原画などの素材を使ってアニメができるまでを紹介します。日時は7月30日と31日の午後2時

30分から。

2日からのワークショップでは、「くるくるアニメをつくろう」「フィルムに絵を描いて映画をつくろう」「ゾートロープをつくろう」「おはなしばたばたアニメをつくろう」などを行います。

期間中、映画の上映やワークショップなど約20のプログラムが行われます。詳しいプログラム内容や日程は、AV事業部【☎03-3797-5664】へお問い合わせください。

わんぱく探偵団員(小1～3年生)募集 2日ばかりで「謎」に挑戦!

8月28・29日 L.I.T.の高校生が企画・運営

【こどもの城ニュース】第95号で既報の「L. I. T.」(Leader In Training=ボランティア・リーダーをめざしている高校生ボランティアのグループ)の夏休みプログラムがようやくまとまりました。時間をつくっては、【こどもの城】に集まり、みんなで知恵をしぼって考えた「自信作」です。タイトルは「とびだせ!わんぱく探偵団—こどもの城のなぞをあばけ」。小学校1～3年生を対象とした、2日ばかりのプログラム。

開催日時は、8月28日(午後1時～5時30分)と29日(午前10時～午後5時30分)の2日間。参加費は1,500円(入館料、食事代を含む)。定員30人。

7月15日正午から、電話で先着順に受け付けします。お問い合わせ・お申し込みは、企画研修部【☎03-3797-5665】へ。



「ほくのおにいちゃん」(上)と「ショーン

の冒険—はじめての雪」(下)

第14回こどもの城・キリン・ファミリー劇場「リトルセブンの冒険」 その後の「7人のこびとたち」は?

青山円形劇場 8月25日～30日



●第14回青山パレエフェスティバル

～パレエと変容～
▽8月9～11日 ▽A席=7,000円、B席=6,000円
●1999スターダンサーズ・パレエ同夏休み公演(ビーター・ライト版)コッパリア【全3巻】
▽8月14～18日 ▽S席=9,000円、A席=6,000円

青山劇場

●少年隊ミュージカル PLAYZONE 1999 「Good bye & Hello」
▽7月11日～8月4日 ▽指定席=11,000円 ※前売り券は全席売り切れ

青山円形劇場の夏休みラストを飾るファミリー企画は、第14回こどもの城・キリン・ファミリー劇場「リトルセブンの冒険」。劇団☆新感線で活躍する作家・中島かずき、演出家・いのうえひでのりのコンビで、童話「白雪姫」のその後を創作した冒険活劇です。

舞台は、ハッピーエンドで幕を閉じた7人のこびとたちの小屋。白雪姫を王子のもとに送り返したあとの

話。こびとたちも散り散りになり、小屋に残ったのは1人だけ。そこに、レッドローズ姫が逃げ込んできました。歌と踊りに立ち回りをおこなった。歌と踊りに立ち回りをおこなった。歌と踊りに立ち回りをおこなった。

出演は、植木潤、河野まさと、藤谷みき、岡田豊枝ほか。公演日時は、8月25日～30日(午前11時と午後2時30分の2回、25日は午後7時のみ)。入場料は2,800円(自由席・定員制。3歳以上均一料金)。青山劇場予約センター【☎03-3797-1400】ほかで発売しています。

●スタジオライブ「死の泉」
▽7月24日～8月1日 ▽3,700円(当日3,900円)、学生=2,500円(当日券のみ)
●月鑑えほん音楽会～えほん×ジャズ～
コトモノオトナもめっちゃ楽しいシアターライブ
▽8月3～5日 ▽小学生親子のご招待
●原田真二
▽8月6～7日 ▽全席指定=5,775円
●山崎真
▽8月9日 ▽2,300円(当日=2,500円) ▽出演=山崎真
●第5回こどもの城人形劇カーニバル特別公演～スペースキートン～
▽8月10日 ▽おとな=3,000円(当日3,

500円)、子ども=2,000円(当日2,500円)
●第5回人形劇カーニバル「ことばってなに...」
▽8月13～15日(詳細は別項)
●渡辺真知子
▽8月19～21日 ▽全席指定=6,000円
●第14回こどもの城・キリン・ファミリー劇場「リトルセブンの冒険」
▽8月25～30日 ▽2,800円 ▽出演=植木潤(花組芝居)、河野まさと(劇団☆新感線)、藤谷みきほか
■ご予約・お問い合わせは、青山劇場予約センター【☎03-3797-1400】へ。